教科のテーマ「質の高いコミュニケーション能力の育成－〇〇〇〇〇－」（仮）

３年４組　英語科学習指導案

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日　時　令和2年7月6日（月）4校時

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　授業者　上原明子　Todd Lambert

１　単元名 ： Program2 Volcanoes in Japan (SUNSHINE ENGLISH COURCE 3)

２　単元で育成したい資質・能力

　　伝える内容を整理し、事実や自分の考え、気持ちなどを表現する力

３　教材について

　　名所や史跡についての紹介を通して、効果的なプレゼンについて考え、実践する。本単元は、これまでの「自分のこと」又は「自分の周りのこと」を英文で表現する活動から、名所や史跡に関する簡単な説明を加えるという、他教科で得た知識の活用を含めた内容となる。また、受身形や現在完了形を理解し状況に応じて適切に使い、身近な名所や史跡について説明文を加えならが、相手を意識したプレゼンテーションをする。

４　生徒の実態

普段からペアやグループで考えて、話したり書いたりする活動を定期的に取り入れており、「相手と話すことによって自分の考えが良くなる」ことを体感している。また「書くこと」より「話すこと」への関心意欲が高い。「伝えたい思い」を一生懸命表現しようと「学びに向かう力」が働いている場面をプレゼンテーションの中で設定し、相手とさらによりよい関係を築けるような英語表現ができるように導きたい。

５　本時の授業構造（これまでとこれから）

Big Question: **沖縄が世界に誇る名所や史跡の魅力を効果的に伝えるには？** 10時間配当 本時第7時

|  |
| --- |
| 今後の見通し（中学校卒業までに）観光立県沖縄「ウェルカムンチュ」の基盤これまで2学年「魅力的な観光プラン」There are～. If～.の表現本時の内容身近な史跡を説明文を加え、英文で紹介することができる。これまで１学年「沖縄観光で出来ること」can「～できる」の表現今後の見通し(Pro2最終)「世界に誇る沖縄の名所史跡の魅力」を2分程度の内容で表現できる。これまで国語や英語で学習した、相手意識を持った、スピーチの方法これまで社会科で学習した沖縄の特徴 |

６　本時のねらい

　身近な名所や史跡に関する説明文を加え、相手を意識したプレゼンテーション原稿を作成することができる。また、既習事項を活用しながら、相手に伝わる表現を自ら追求し続ける姿の実現を目指す。

７　本時のみどころ

　本校英語科では、英語を使って情報を伝えるだけでなく、相手意識を持った英語表現ができることを目指している。本授業では、個の学びを他者との対話によって、考えや視点を広げ、より深く追及していくための協調・協働を促すことで、「学びに向かう力」をはぐくむ機会となるよう工夫をした。「『学びに向かう力』が高まっている（主体的に学習に取り組む）生徒の姿」を授業の中であるかどうか見ていただきたい。

８　本時の学習活動

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分 | 学習の流れと生徒の活動・思考を誘う発問 | 生徒の姿 |
| 7 | 【Big Question】沖縄が世界に誇る名所や史跡の魅力を効果的に伝えるには？【Today’s Can-Do】

|  |
| --- |
| 身近な史跡について説明文を加え、紹介することができる。 |

１．Greeting & Warm-Up　・small talk | 問題を認識する。 |
| 8 | ２．エキスパート活動②

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| エキスパートA○中城城跡の歴史に関する魅力を、英文で表現する。 | エキスパートB○中城城跡の立地に関する魅力を、英文で表現する。 | エキスパートC○中城城跡の周辺に関する魅力的な部分を英文で表現する。 |

それぞれの課題について、グループで読み解き、大切な部分について話し合う。 | 情報を整理する。比較する。★主体的に学習に取り組み、考えを深める。 |
| 20 | ３．ジグソー活動【エキスパート活動の考えを統合して、課題について解決していく】

|  |
| --- |
| エキスパート活動で確認した情報やアイディアを共有し、身近な史跡を効果的にプレゼンする方法を考え、英文で表現する。１．それぞれの情報やアイディアを伝え、得た内容をメモする。２．グループで、中城城跡に関する紹介を英文５文程度で表現する。さらに、効果的なプレゼン方法も説明できるようにする。 |

＊話し合い活動は、日本語使用も認める。 | 多面的に考える。★主体的に学習に取り組み、考えを深める。 |
| 10 | ４．クロストーク①【全体共有：思考の幅を広げる】グループで話し合った考えを発表し、全体で交流する。 | 比較する。 |
| 5 | Can-Do Check記入 | 評価する。 |

９　期待する解(A)（生徒の表現レベル）

身近な史跡について、説明文を加え、相手を意識したプレゼンテーション原稿になっていることを期待する。

Have you ever visited Okinawan castle?

This is Nakagusuku castle. It is in the center of Okinawa.

Nakagusuku Castle was completed by Gosamaru (Okinawan hero ) in 1440. It is very beautiful stone castle.

 The castle is near our school. I have visited there 3 times. The scenery from there is very beautiful. If you go there, you can see the beautiful sea and sky.

 There is a good restaurant near Nakagusuku castle. It is King Tacos. You can eat delicious taco-rice.

 Let’s enjoy Okinawan history and Okinawan food.

Aの要素：

①身近な史跡「中城城跡」について、説明文を加え、相手を意識したプレゼン原稿になっている。（本時）

～パフォーマンスでは、以下の３点をプラス～

②沖縄の名所や史跡の魅力を、文化の特徴を含めてプレゼンしている。

③イラストや写真などを効果的に示し、自分の考えや気持ちを加え、相手を誘うことができている。

④語彙や文法が正確でクラスメイトが聴いても分かりやすい内容である。

＊５文程度の文章で構成しているが、上記の要素がほとんどない場合はB。